令和６年度第１回指宿市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

１　日　　時　令和６年６月24日（月）　13:30～15:25

２　会　　場　指宿市役所指宿庁舎３階　大会議室

３　参加者　井上 佳朗，西 修平，宮﨑 恵介，永谷 真純，今村 勝博，鳩野 浩一郎，別府 竜人，臼山 正二，内 清則，今村 孝光，水流 美紀子，谷口 誠一，榊 登志幸，岡 良二，川畑 哲郎，末永 陽一，渡部 徹也，鴨﨑 一郎，出島 雅彦，髙田 博憲，岩林 茂樹，七夕 勝彦，鈴木 貴大

事務局：宮地　主税，中村　知裕，大小田　直人

　※欠席者　関山 智幸，福元 亮介

４　役員選出　会長：井上 佳朗　氏，副会長：鴨﨑 一郎　氏，

　　　　　　　監事：渡部 徹也　氏，臼山 正二　氏を選出

５　議事要旨

【報　　　告】指宿市地域公共交通計画について

(以下，質問及び意見)

委　員　　「将来の公共交通の骨格」に「⑤　特定の交通」と明記しているが，指宿市において何か検討しているものはあるか。

事務局　　現在，指宿港海岸の整備が進んでいるが，整備が完了した暁には，観光客向けのグリーンスローモビリティやビアバイク等といった，アトラクション性を持った乗り物の導入を検討している。

【議案第１号】規約の一部改正について

(以下，質問及び意見)

委　員　　運賃協議会に諮る前に地域住民にアンケートや説明会を行わないとならないとのことだが，説明会を開いても運賃に対する事業者の思いと住民との思いの間にはかなりの開きがあると思う。

　　　　　適正な運賃について，まっさらな状態で住民に投げかけたとしても，うまくいかないのではないか。運賃については，できる範囲で交通事業者と議論したうえで地域住民に提案すべきではないか。

事務局　　法的には住民の方に意見を聞いた上で，それを報告するっていう形に確かになっているが，我々としても運賃がどの水準において妥当であるかについて，白紙の状態で住民に投げかけることは絶対ない。これまでの運賃の協議についても，今運行しているイッシーバスの運賃や路線バスの運賃等，比較する材料を持った上で，それぞれ地域に出向いて運賃についての提案を行うことは，この運賃協議会の規定ができる前からやっており，今後もそれは継続してやっていく。

会　長　　運賃協議会は，常設の協議会か。

事務局　　この運賃協議会というのは常設ではない。運賃に関する案件が出てきた時のみ開催される。

具体的には，協議会の構成メンバーは，市長及びその指名する者，運賃及び料金を設定しようとする交通事業者，運輸支局の方，沿線の住民代表が構成メンバーになってくる。その案件に応じて交通事業者や沿線の地域代表の方というのは変わってくる。

また，この協議が行われたら一旦解散をする形になる。

≪議案可決≫

【議案第２号】令和５年度事業報告及び収支決算について（監査報告含む）

(以下，質問及び意見)

委　員　　指宿市のりものガイドの更新版の発行について，14ページの歳出の方にその費用は計上されていないが，これは市の単独事業でされたという理解でよろしいか。

事務局　　お見込みのとおりである。

≪議案可決≫

【議案第３号】令和６年度事業計画及び予算について

(以下，質問及び意見)

委　員　　７月３日から新札の流通が始まるが，どこの交通事業者も赤字運営を行っていて，新札対応の両替機になかなか更新ができず，利用者の方々に不便をおかけすると思う。

10月頃に乗り物ガイドを更新すると説明があったが，報告事項の中でも回数券の利用が多いというようなことがあったので，のりものガイドに，回数券の利用促進に関する記述をぜひ入れていただきたい。

路線バスには，「新札にはまだ対応できておりませんので，なるべく旧札での対応をお願いします」という案内をバスには貼っていこうと思っている。のりものガイドへの記載や住民説明会でも，その旨周知していただきたい。

事務局　　事務局としても，バス回数券を使っていただきたいので，乗り物ガイドの４ページに，バス回数券のご利用について広告を出している。

また，住民説明会の時や，日々の業務の中においても電話や窓口にてバスのことについてお問い合わせをいただく。

お客様のお住まいの地域，利用される路線は結構まちまちだが，その中で，回数券を利用されたらお得で便利だと思われる方がいたら，積極的にセールスをしている。

また，イッシーバスについては，路線バス回数券は，対象外となっている。その理由として，イッシーバスの運賃が250円均一というバーゲンプライスなので，普通の路線バスだけ対象とさせていただいている。

　　　　　今後発行する乗り物ガイドについても，この回数券のご案内というのは継続してやっていく。

オブザーバー　　昨年度末に地域公共交通計画を策定して，今年度から順次実行というフェーズに入ってくるかなと思っているところだけれども，計画には，各種政策と目標を達成するための各種政策というものが盛り込まれている。

　　　　　これらの施策について着実に実施しているかどうか，検討しているかどうかについて，協議会の場で進捗状況を報告する場があっても良い。

　　　　　今回も，普及啓発活動という形でのりものガイドの更新や住民説明会についての報告があったが，それ以外の施策も含めて，状況報告いただく場としてこの協議会を活用いただきたい。

会　長　　計画に則った様々な施策は必ずしも具体的なものばかりではないので，その都度必要なことはやっていただくとしても，せっかく計画を作り，この目標を掲げた以上，その目標達成に対してどんな効果が見られたかを報告し，効果が見られなければ，また何かここで新しい知恵を出して対応策を練るということは，組織として当然の対応と思うので，事務局も準備を含めて対応をお願いしたい。

事務局　　今回，計画を策定してまもなくだったので，具体的な今後の取り組み状況について今日の議事においては提示することはできなかったところだが，今でも，計画を策定した段階からまた運転手の問題等が出てきており，さらに最適な交通モード等の見直しをかけていかないといけない状況に陥ってきている。

そういったものも含め，この計画については，ただ策定したのではなく，実行していくための計画を作ったと思っているので，数値目標等を含めて達成できるよう，地域住民，市民の皆様の期待に応えるようなものにしていきたいので，今後また関係する事業者の方々にも相談をしながら，適切な時期に私どもの計画，実施計画等を示したいと思っている。その際はこの協議会において皆様のご意見等を賜りたい。

委　員　　事業計画の中で普及啓発活動というのがあるが，公共交通を利用するという意識を高めるっていうことは非常に大切だと思う。

自家用車に依存する生活になりきってるので，すぐに車で行くことをパッと頭に浮かべてしまう。

指宿市内でもいろんなイベントがあるが，イベントの案内を見ると，「駐車場はここですよ」いう案内は大概載っているが，それに加えて，例えば指宿駅周辺であるようなイベントであれば，ＪＲを利用したらこの時間でいけますよ，体育館や市民会館辺りであるようなイベントはバスを利用してこの便で行って帰ってこれますよ，みたいな情報は，必ず案内の中に入れていくことが，今後少しでも「公共交通を利用するのも１つの選択肢ですよ」という意識づけをしていくために大事だと思う。

菜の花マラソン等ではＪＲがそれに合わせた臨時列車も出していただいているが，それだけではなく，例えば温泉祭りやフラフェスティバル等でも，対外的な市のイベントであれば，ぜひ駐車場の案内だけじゃなく，鹿児島市内の方がやってくるとこういった便取れますよとかですね，そういったのを案内に掲載していく。

　　　　　そういった意識付けを，イベントを運営する側，利用する側で，市民に対しても，そういったことで少しでも，地域公共交通もありますよということをですね，少しでも検討していく必要がある。

これらのことについてはもうちょっとやっていかないといけないのかなと思う。

事務局　　私どもとしても，イベント等がある時には公共交通を利用するようにというのは，一言書かせてもらっている。

６月の頭に行われた山川みなと祭りにおいても，かねて指宿方面から来るお客様が多かったので，今回のチラシには指宿駅・山川駅間のＪＲの時刻表，鹿児島交通のバスの時刻表を掲載した。

今回はＪＲやバスを使ってくるお客様が非常に多くて，バス停の方にも，たくさんのお客様が降りられており，その風景を見て非常に良かったなと思っている。

今後もみなと祭りではそういったアナウンスを継続させてもらうし，他，温泉祭や産業まつり，開聞の夏祭り等においても可能な限り，地域で行われるイベントその他の行事等については公共交通機関を利用されるようお願いをしてまいりたい。

委　員　　指宿市のりものガイドの更新版について，前年度は市の方からの予算で，今年度はこの協議会からの予算でっていうことで計上してあるが，そこの経緯を伺いたい。

また，ガイドを全部更新して全部印刷しないといけないのか，それとも，もう簡易的に一部のページで済むのであれば，そのページだけの印刷すればいいのではないか。

事務局　　今年度からのりものガイドの発行費用を活性化協議会の予算にした理由としては，市内部において，予算についての事務的な整理をしたためである。

乗り物ガイドの更新については，時刻表の改正がなかったらそのまま使えるが，時刻表の改正が行われた時に，その規模によって，シールを貼付する等の簡易的な方法で出来る場合と，そうはいかない場合とある。

令和６年10月の発行については，この後，第４号議案において審議いただく予定だが，運行経路が変わることで，時刻表も変わってくるという結構大掛かりな見直しを予定している。

この場合，シール貼付で改正に対応するというのは困難なので，新たに刊行するという形で予算も計上させていただいた。

≪議案可決≫

【議案第４号】路線バスの経路変更について

(以下，質問及び意見)

委　員　　どちらの経路の変更に関しても，バス停のところに，1つ目の経路変更については開聞中学校前，それと次の系統の中には南指宿中学校前のバス停があるが，中学生の利用は特にこれまでもなかったという理解でよろしいか。

事務局　　お見込みのとおりである。

委　員　　開聞岳登山客の利便性向上を図るためということで，開聞岳１合目に停留所を新設されるとのことだが，近年山岳救助の事案が少しずつ増えており，安全管理の面で「できるだけ午前10時までには登山を開始してください」とお客様にお願いをして，暗くなる前までに下山を必ず完了させてくださいというアナウンスをさせていただいている。

そういった観点から，ここに開聞岳１合目という名称のバス停ができれば，利用されるお客様もいらっしゃるのではないかと思うが，現実的に，何時ぐらいに到着をして，何時ぐらい帰りの便が出発するのか。

事務局　　概ねの目安として，指宿方面から開聞岳を目指す場合には，だいたい10時前後と12時前後と14時前後に池田湖行が停車して，指宿方面にお帰りになられる際には，11時前，13時前，15時前といった時間帯になるものと予想される。

≪議案可決≫

【議案第５号】令和７年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

(以下，質問及び意見)

委　員　　フィーダー計画の認定申請書類について，本日の協議で協議が整いましたら鹿児島運輸支局に申請書を提出し，運輸支局からですね，九州運輸局に進達して今後は処理をしていく形になる。

申請書に関しては，九州運輸局とやり取りをして，細かな修正等が生じることとなるので，その場合には，事務局に修正事項に関して一任していただくということを含めて，協議に諮っていただきたい。

≪議案可決≫

【意見交換】

委　員　　乗務員不足が継続している。本年度に入ってからも，僅か２ヶ月で９名退職した。

　　　　　指宿でも７月末で退職者が１名出た。８月にも退職予定方がいる。

この影響を受け，７月１日から，指宿-鹿児島空港線の一便減便させていただきく。東大川線も一便減便させる。

乗務員募集は常にかけているので，どこまで続くかわからないが，ひょっとしたら年内に元に戻せるかもしれない。

しかしながら，退職者の方の予定というのは，定年や年齢制限については予定が立つが，それ以外の部分については全く予定が立たないので，約束ができないような状況。

先日も県のバス対策協議会があって，そこでも話をさせていただいた。県の教育委員会の方々もお見えになっていたが，非常に県庁の方は国と一緒で縦割で，横の繋がりが全くないと痛感した。そういうようなことが，各自治体で発生しないようにしていただきたい。

我々も会社として，公共交通機関として，事前に情報は常に流しているので，できるだけ早い対応をしていただきたい。

ご迷惑をおかけするかもしれないが，ご理解のほどよろしくお願いしたい。

2024年問題もある。無理をすれば走れるが，国が罰則規定を設けおり，実際，岐阜の交通会社は時間外に走って，行政処分を受けた。そういうことは我々も受けたくない。そこの部分もご理解の上，ご協力のほど何卒よろしくお願いしたい。

委　員　　今回の大雨で，指宿枕崎線の喜入-指宿間の複数か所で土砂が流入しており，復旧の作業を進めて，今朝の始発から運転を再開している。ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしたが，雨がかなり降っており，今も前の浜-瀬々串間で速度規制がかかっている。

皆様に地域公共交通，そして鉄道をご利用いただけるように，ＪＲ九州鹿児島支社ではアンケート調査を実施をしている。皆様からのＪＲの利用についてのご意見等も踏まえながら，多くの方にご利用いただけるよう，私たちとしても努力してまいりたいと思っているので，ご協力いただきたい。

委　員　　公共交通は人口減少等でなかなか増えていくっていうのは，色々努力をしていかないといけないが，そういった中でも，指宿は観光地なので，観光の方は伸びしろがまだあるんじゃないかと思う。

鹿児島交通の所長にこの前聞いたが，鹿児島交通の指宿駅前バス停に，毎日11時ぐらいに外国人がいっぱい立っている。外国人はこれからどこに行くんですかという話を所長さんに聞いたら，路線バスで長崎鼻まで行く。長崎鼻で一時観光したら，次はまた次の路線バスで徳光小学校まで行き，徳光小学校から西大山駅まで歩いていくとのこと。

我々日本人の感覚では思いつかないが，西大山駅まで歩いて，西大山駅からＪＲに乗って指宿に帰ってくるというコースについて，目から鱗が落ちるような発想で，なるほどなと思った。

西大山駅もご存じの通り，観光客はすごくいっぱい来るが，列車に乗ってくれる人が少ない。だけど，列車に乗ってくれる。公共交通，バスも２回使う。ＪＲも使う。で，開聞岳に長崎鼻も楽しめる，そういったルートをよく思いついたなと。

インバウンドならではのことだが，別にインバウンドの方じゃなくても，日本人で元気な方だったら全然いけると思う。

のりものガイドは確かに地元の人が見たら色々と使い道が出てくるが，「こういったルートでどうですか」っていうような案内を，観光客の方にはしていったらどうかなと思う。

先ほどの開聞岳１合目のバス停を作ったのも，非常にこれはいいことだなという風に思う。

開聞岳登山のバスだけでなく，そこに合わせて開聞駅からＪＲで帰る方法もある。

これからは知林ヶ島も５月から10月までは渡れて，その時に市のホームページで案内があるが，「この時間帯は渡れます」というのに合わせて，例えば「指宿駅からバスがこれとこれ使えばいいですよ」という，一緒に案内すると他所から来ている人たちにはすごくわかりやすい。

あと，この前新聞で南大隅町で雄川の滝や佐多岬を周遊する観光バスが出てたが，指宿にもなんきゅうフェリーがあるので，指宿から山川までの交通案内とかバスを活用し，「こういったルートで回れますよ」っていうのを案内していく必要がある。

地域公共交通を利用してもらう，観光面の分についてはそういったまだまだやれることがあると思う。

委　員　　先ほどバス停の名称変更が議題に上がったが，「山川砂むし温泉前」が「伏目口」となったことに，ついて，バス停の名称変更というのはどういう経緯で決めるのか伺いたい。

事務局　　停留所の名称変更について相談を受けたが，たまて箱温泉停留所ができたことによって，山川砂むし温泉（砂湯里）に行く場合は，そちらで下車いただいた方が近いとのこと。

従って，今，山川砂むし温泉入口バス停を使われる方が非常に少なくなってきているということで，今回，観光客の方が混乱されないように，最寄りの停留所で降りていただくよう誘導するために名称変更を行いたいと伺っている。

逆の理由で，これまでの地名的な停留所の名称だったのを，例えばフェニックスホテル前やシーサイドホテル入口というような形で，指宿市内においても名称を変更してきた経緯があるので，今後も，鹿児島交通を中心として，名称については改善がなされるものと思っている。